

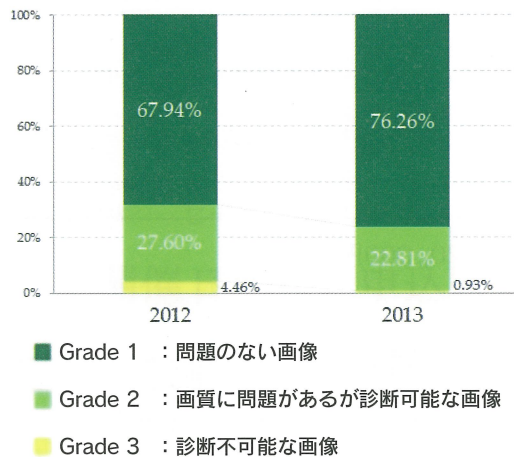
# 馬獣医のよもやま話 ④ 前田昌也獣医師

## レポジトリー資料の質は売買に影響？

静内診療所 前田 昌也

多くの馬を比較検討できる市場に購買者も魅力を感じるのか近年は市場が活気づいており、同時に参考資料としてのレポジトリーの利用状況も年々増え、資料の質に対する購買者の要求も厳しくなっています。

レポジトリー導入当初の提出資料はもちろん、今考えても参考にできない低質な画像・動画がありました。当組合で2013年3月に獣医師向け説明会を実施し標準的検査画像の理解に努めたところ、診断不可能な画像は2013年にかなり減少し（下図）、さらに獣医師には詳細な報告書を送付し、今後のさらなる改善を促しました。



…しかしながら、2014年のセリでは残念なことに数人の購買者の方から資料の質に対する不満が寄せられ、内視鏡検査動画やX線検査画像において診断困難な画像がありました。

これらの資料について一部の購買者の方から「このレポジトリーは何の参考にもならない」等の訴えもあり、結果として購買意欲を損なわせてしまう事になる場合もあると思われます。獣医師のレポジトリー撮影手技により、販売者の皆さんがマイナスを被ってしまう事もあると考えられます。



関節が観察できない画像例

前述の通り組合では報告書を送付し、更なる技術向上と改善に努めていますが、適切で正確なレポジトリー資料を提出する事が、購買者の不安を払拭し信頼を得ると共に、購買意欲向上にもつながるものと考えております。

私たち獣医師としては、人馬の安全など加味して妥協する部分は出るとしても、検査料金を頂いて仕事をする以上、最善の品質と内容を提供できる様努力する必要があると思っています。

レポジトリーを本質的に市場の信頼を上げる手段にできるか否かは、いくらシステムを改善しても携わる人次第でどちらにも転びます。

私たち獣医師は、不適切なレポジトリー資料により皆さんが不利益を被らないようにするために技術を磨かなくてはなりません、市場の信頼を維持して行くには皆様のご理解とご協力が必要です。考えることが色々増えて大変ですが、今後とも宜しくお願ひ致します。

### 診療事業部からのお知らせ

現在行っているフォールチェックにつきまして、血液検査機関において本年度より検査項目の一つであります新生児移行抗体の指標である馬-I G G検査が廃止となり、検査内容が変更となりますのでご了承願ひます。